（郵遞局認可）

（日曜日休刊）（定價三錢）

時事新報

時事新報定價
一枚金五錢〇一箇月前金六十五錢〇三箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓四十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇郵便料一箇月金廿六錢〇一箇年金三圓十二錢〇左ニ掲クル各地ニ於テハ發行所ヨリ發送無料ニテ配達致候（但本社ヨリ直接郵送スルモノハ此限ニアラズ）
東京、横濱、横須賀、佐倉川、王子、小田原、鎌倉、新橋、品川、大坂、京都、大津、神戸、尼ヶ崎、堺、岡山、笠岡、福山、宮島、廿日市、下關、長崎、福岡、久留米、熊本、八代、鹿兒島、高知、下關、長崎、福岡、久留米、熊本、八代、鹿兒島、高知、高崎、前橋、宇都宮、高崎、鹿沼、八王子、千住、松戸、石巻、白石、福島、郡山、宇都宮、高崎、鹿沼、八王子、千住、草加、越谷、幸手、杉戸、幸手、久喜、鴻巣、千葉、銚子、佐倉、東金、市川、八幡、船橋、其他同地近傍郵便取扱ノ個所ハ同シク郵送料不申受候

時事新報廣告料（前金）一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上	七日以上
百一行	五十行	十六日迄	十六日以上
百十行	五十行		
三十一行以上	八九十	錢 八錢 七錢	七錢 二厘 六錢 八厘 五錢 九厘 五錢 五厘
		六錢 五厘	五錢 八厘 五錢 毛 五錢 五厘

第千二百四十五號
明治十九年四月九日 金曜日
穫丙戌三月六日（己亥）
月出入 午前六時五十分 午後六時七分
月出入 午前八時十分 午後八時四十七分
滿潮 午前九時五十分 午後九時三十分
（西暦一千八百八十六年）

時事報報

東京市民の肉食法

現時社會に事物改良すべきもの極めて夥多なりと雖も中に就て最も緊要に且つ最も着手に故障少なきものゝ一は日本國民の食物なり今の如く三度の食事が無味なる野菜と淡泊なる二三魚肉の類より成る狀態にては我國民の身体精神両つながら活潑偉大なるべきの道理無く轉た倍々萎縮して無氣無力の矮小人種たるべくは數百年來の實驗に照して誠に見易き次第なり三軍は士枯腹を以て戰場に飢餓を泣く間に陣を臨んで勝を制すること難き十九世紀の文明世界は恰も宇内共有の戰場なりと謂つるものは榮枯の理の明瞭なる錢に憑て物影を視るが如し左れば我輩日本國民にして苟めにも國を開て西洋諸國と同き文明の戰場に比肩獨立の顔色を立てんと云ふ決心もならば先づ手始にみの戰場に臨むべきそれ人々は身心を健固快活にして決して飢餓羸頽に惱むやうの事なきを期せざる可らず即ち是れ日本國民食物改良の必要なる所以にして、餘短にみれと言へば菜食を變じて肉食とみさゝる限りは彼の文明世界の戰場に繰出すべき日本人士が勝算と見るとい所詮覺束なきとおらん

肉食と盛んにするの要は右の如く誠に尤の道理なれども爰に途に慣いるの困難事なりと申すと肉の價は極て不廉なる一錢あり目下東京府下は小賣相場に積りて中等一斤の牛肉値段平均十八錢内外なりこの値段にて毎人若しは日に半斤宛の肉を喰ふとせば一箇月の牛肉代價二圓七十錢に上る勘定なるが月に二圓七十錢とは中等社會以下の人が毎月平均の生活費としても尚は餘剰あるべき金額たるに若し少しく文明に風と氣取り、敢て肉食の民たらんと欲せば一身一箇月の生活費と率なて牛肉代に奉ずるとも尚を不足と感ずべきの次第なるべし到底今の儘の有樣にて東京市民に肉食と促がすことい我輩に於ても大に憚りあると発るとは何に如何に肉食が必要なれバとて斯くも高價の牛肉を生活費に低き人々に賣らんとするは我輩の屑とせざる所なればあり我輩窃に今の東京府下牛肉販賣の方法と聞きその價の不廉を致すも實に已み難き情實あると知るなり牛一頭を屠れば平均肉量三百五十斤を獲らるゝものと割算し目下問屋間の賣買値段は上等肉百斤に付五圓五十錢乃至六圓、中等肉同く五圓、下等肉同く四圓内外の相場なる由に聞けば中等肉の價は一斤平均五錢に當る割合あるに偖有の問屋がられと市場に賣出して彌々消費者の手を渡すまでにと元價五錢の中等肉が忽ち賣買して十八錢即ち三倍以上乃至四倍あも亜んとす畢竟何故なつて元價と賣價との間に斯る大相違を出來せざむるやと問ふにはまには他に種々と小因もあるとならんかれども其大体、現時府下にある牛肉の大問屋ともいふべきもの凡ろ二十軒許りあり此等の仲間一手申合せ上、一の規約を設け地方の牧畜家が其牛羊を東京へ持出すあるに當りては右の大問屋に於てこれが販賣方と引受け然る後ふれを屠殺して夫々小賣人に渡すそれ仕組は完全なるに似れども府下の大問屋と地方の牧業者との間が兎角看中合せを擦れ合ひそその取引圓滑ならず時としては府下の問屋中互に申合せて牧業者の代物と低價に値踏し聽かざると云ひ相嚇合をて其代物を引取らず二月も三月も賣買の約定を結ばずして言いバ牧業者とおふり殺を、ふあし牧業者として金は究を、時月は立ちて致方なく去逝遙々まれ東京へ牽來りしその動物を又も費用を掛けて田舎まで牽返すといふ譯ふも往かを九十九計爰に盡兒果て一計漸く牛羊と捻賣にて歸鄉せしめんとし又牧業者は最初牛羊を賣りに東京ゑ出向くに際をて往く〳〵ハ廉く負けて賣る覺悟ありとも初は先づ試にその吉價を不廉にして百中唯一の僥倖を買はんと欲もる其有樣は猶は東京の緣日に植樹屋がその價を五倍にし又た十倍ゑするが如く買客のこれと五分の一、十分の一に値切るとは兼て覺悟の前にとなれども例の僥倖の念容易に消滅し難くして徒らふその價を二つにするの情實もあり然れども時する所は大問屋の仲間組合ゑ勝利と獲をて故山に歸るを常とす斯くて後ち東京の大問屋に於ては前記無益の戰爭ゑ金を失ひ時と費を隨て牛肉の賣値を引揚げ以てその損失と償はんとするに至る是れ元價五錢ハ牛肉ゲ市場に現はをて十八錢の高價に化をる所以なりと聞けり尤も元價よりも三倍乃至四倍ゑ其品を賣るは實際の賣買已む可らざる次第あつて然るもれか或は左迄高價に賣らずして例へバ中等肉一斤を今の十八錢の代りに十錢位（これ為ても尚は元價の二倍あり）に販賣ゑても問屋ゑ相應の利潤あるもれなるか夫迄は我輩辰外者に於く事の背景を窺ひ得る能はをと雖ども消費者たる位地よりして望むときハ第一に地方牧業者と府下大問屋との間柄と圓滑にし第二ゑ府下賣捌の現法を改新し更に廉價に牛肉と販賣して我々の便益と爲る方策もあらバ我々は復た今よりも消費の額と五倍にし十倍にして牧業者并に問屋その人ゑも十分の利潤報酬と與ふるを吝まざるべし

官報

○辭令

御用有之左ノ府縣ヘ出張被仰付　大藏省主税官　深津　無一

東京　神奈川　埼玉　千葉　茨城　群馬　栃木　山梨　長野　横尾　平太
御用有之左ノ縣々ヘ出張被仰付　同
新潟　宮城　福島　岩手　青森　山形　秋田　金子　彌平
御用有之左ノ縣々ヘ出張被仰付　同
三重　愛知　靜岡　岐阜　福井　石川　富山　是恒　眞棍
御用有之左ノ府縣ヘ出張被仰付　同
京都　大坂　兵庫　滋賀　和歌山　德島　高知　野尻　邦基
御用有之左ノ縣々ヘ出張被仰付　同
鳥取　島根　岡山　廣島　山口　愛媛　牛場　卓造
御用有之左ノ縣々ヘ出張被仰付（以上四月七日大藏省）　同
長崎　福岡　大分　佐賀　熊本　宮崎　鹿兒島　農商務權少技長　荒川新一郎
色染織物稍續共進會出品審査長トシテ京都府出張被仰付（四月六日農商務省）　同
授産場製造織物染色調査ノ爲メ鹿兒島縣出張被仰付（四月七日同）　山岡　次郎
第二期東京重罪裁判長ヲ命ス　判事　小杉　直吉
同　兒玉淳一郎
同　松村操一郎
（以上四月六日東京控訴裁判所）
第二期東京重罪裁判陪席ヲ命ス（各通）

○和歌山縣虎列刺豫防景況　和歌山縣海部郡雑賀崎浦に於て去月十八日より虎列刺發生し其の勢猖獗あると以て直ちに官吏派出ゑ癘病院と設け檢疫醫と置き充分豫防に從事せしか同三十一日迄患者二十四人内死亡十四人にして尚蔓延の勢あり然るに該地の漁海居民漁業と專とし之と四方ゑ販出ゑ船舶出入も亦多く隨ひて病毒を他ゑ傳播するの慮甚しきに因り昨三十一日より船舶人民の交通を遮斷したり而して其の遮斷中は貧民と救助をる等即今嚴重防遏に盡力中あり（和歌山縣報告）（以上三件本年四月八日官報）

雜報

○桑名懇親會、四月四日市乘船　四月四日東京ゑて　本山彦一

四月三日午前五時福澤先生の一行名古屋を發し人力車ゑて前ヶ須に向ふ、此日は正午と期し桑名懇親會に臨み午後四時四日市出帆（横濱行）の汽船ゑ乘るつもりなれバ前夜就眠の十二時後なるにも拘らず殊ゑ出發と急ぎ午前四時前より起出で旅裝をなしこり名古屋より送りの人桑名より迎への人々とは前ヶ須にて會合告別し此所には兼て用意の小舟に乘り木曾川の末流と横ぎり桑名ゑ着したるは午前十時過なり之上陸直ちゑ同地田町柿八樓に至る之を懇親會場とを和會するもの三十一名一二の官吏（郡長、警部、郡書記）と除くの外悉皆商人にして（殊に米商多し）他の會場とは頗る趣と異に人員も多からず沈默靜肅ゑれとも其人物は各有爲の氣象に富ゑ活潑に商業を發ゑ多く財產と有をる人々なり先生も商業上の事に付種々談話をゑ午飯と喫し十二時後出發四日市濱田屋に小憩四時日本郵船會社の汽船尾張丸ゑ乘込ゑ五時出帆横濱に向ふ四日市の有志者相送りて船中ゑ來るもの少からず（三月十七日此地に懇親會あり）就中郵船會社四日市支店支配人船本龍之助氏と先生を名古屋に迎へ同所懇親會ゑ臨み相伴ふて桑名に至り乘船に至る迄厚く周旋盡力したり扨尾張丸にては船長並事務長より殊に懇切の待遇と受く船長は船中の鬱情を慰めん爲め〻レポン（新製の樂器）を弄まて余輩一行に聽かしめたり翌四日午後三時横濱着同地日本郵船會社よりは小蒸氣船を以て迎へ上陸の上暫時同會社に休憩午後四時四十五分發の汽車に乘り品川停車場にて下車拔よゝ先生の家族知友並慶應義塾の生徒多く迎へ午後六時發以來今日迄二十ゑ若し知友に再會ゑ為ともなり尚は旅中ゑ

○窮民の嘆願　大阪市當地貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べし如く府下河内國十九名の者共は貧民の景況と中述べ

○群馬縣下生糸　大阪府知事、大阪府知事、大阪府知事、